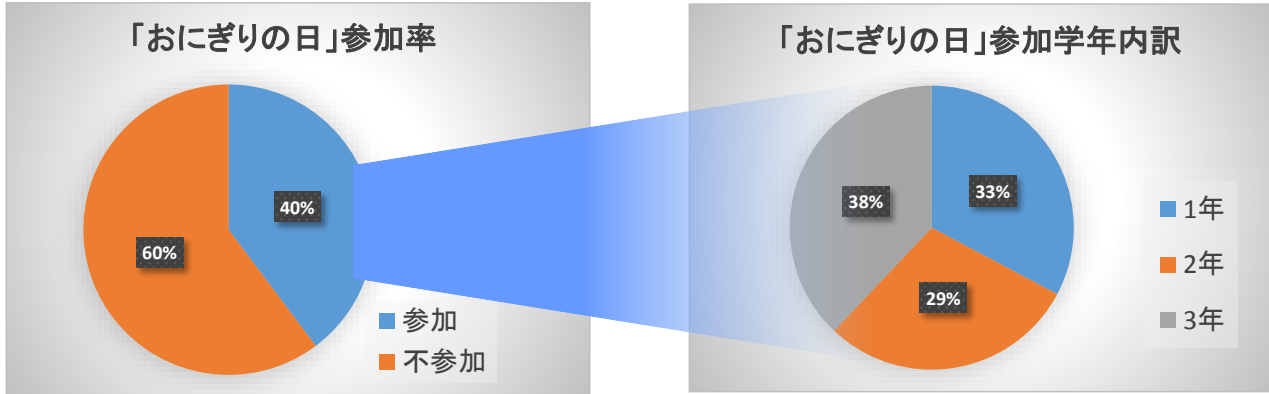
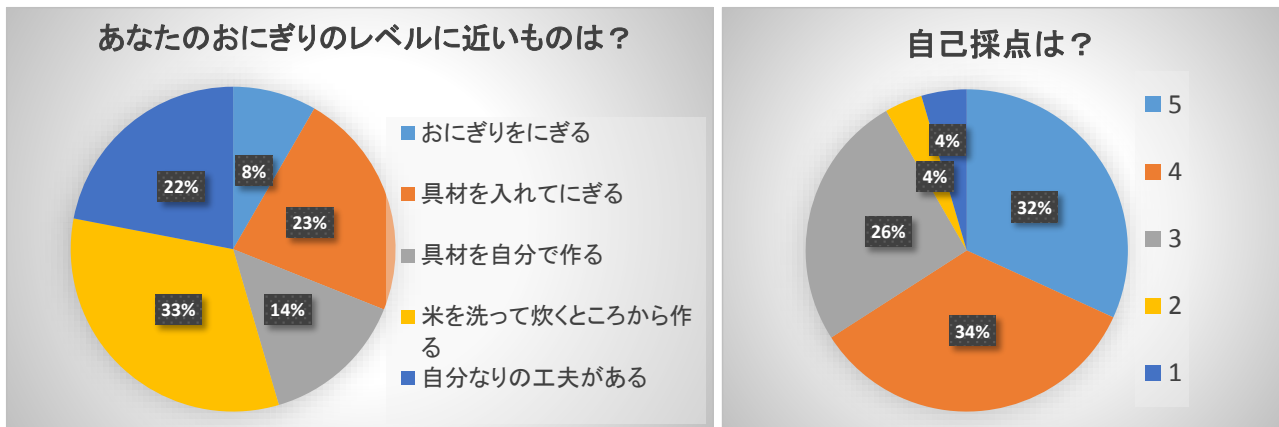


第3回家庭教育学級『おにぎりの日』を終えて

毎年、SFBと合唱祭の時に行っていた「おにぎりの日」。しかし、昨年度、今年度と、コロナ禍ということでが実現できませんでした。今の梅林中学校で「おにぎりの日」を経験しているのは、3年生だけです。家族が気軽にふれ合える、この時間をぜひ続けたいというPTA家庭教育学級の声がありました。そこで、急遽、秋季休業の間に行い、アンケートに答えるという形で、第3回家庭教育学級を執り行いました。以下に、そのアンケート結果を載せます。



参加率を見ると全校の4割程度ですが、突然の連絡だったことを踏まえると、予想以上に多くの方に参加していただけたと思います。以前のように、学校でみんなと一緒におにぎりを食べたいという声もありました。来年度もコロナ禍が続くか考えると難しいですが、計画的に、できることを少しずつやっていきたいと思います。また、ご協力をお願いします。



生徒の感想より

・握る強さが弱すぎると崩れちゃうし、強すぎても硬くなってあまり美味しくなくなるから、丁度いい握り具合にするのが難しかったです。作り方は簡単だったので、長期休み(夏休み、冬休み、春休み)の時にまた作ってみてもいいかな、と思いました。

・工夫したことは、栗を入れて炊いて、おにぎりを握ったことです。初めて栗を剥いたので、ちょっと難しかったけど、親と協力しておにぎりを作ることができたので良かったです。

・おにぎりの形を綺麗な三角でにぎることができた。作った時間がとても長かったのと、形を整えるのがとても大変でした。こういう手間がかかることを親にやってもらってるんだなと改めて感じたし、15年間やってもらっているので、とても感謝したいです。

・おにぎりを握るのは久しぶりでした……。いつも母に作ってもらっていたけれど、料理が苦手な私でもこれならできる！少しでも母の負担を減らすために、これからはおにぎりくらい自分で握ろうと思いました。

